杉並区立
浜田山小学校
Hamadayama Elementary School

学校運営協議会だより
CS Newsletter
Community School / School Management Council
2026/9
vol.9

CSで地育

Community School



学校と地域で、子どもを育てる。

浜田山小学校CSは、学校・保護者・地域が一緒に学校のことを考え、子どもたちの毎日を支えていくための学校運営協議会のことです。

学校の方針を共有し、地域や保護者の視点から意見を届けながら、学校と地域がつながる仕組みづくりを進めています。

子どもたちの声に耳を傾け、学校の中だけでなく、地域全体で安心して育つ環境をつくっていきます。





学校・家庭・地域が連携して、
子どもたちが安心して学び、過ごせる学校づくりを支えていきます。

CSとは？

CS（コミュニティ・スクール）は、学校に「学校運営協議会」という話し合いの場を設け、保護者・地域・学校が、学校の方針を一緒に考える仕組みです。

1. 学校方針づくりを手伝い、学校運営を支えます
2. 学校の課題を一緒に考えていきます
3. 地域とつながる仕組みをつくります
4. 子どもを見守る活動をします
5. よりよい教育体制への意見を学校へ届けます

CS会長メッセージ

佐々木孝信 / 元本校PTA会長

日々、浜田山小学校CSにご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

今年度の浜小CSは、地域と学校が一つになって連携を図り、浜田山小学校の子どもたちの成長と、先生方を支えることを目的としております。

皆さまからさまざまなご意見をいただければ幸いに存じます。

今年度もどうぞよろしくお願い申し上げます。



いじめを見逃さない学校へ

子どもたちが安心して過ごせる毎日のために

浜田山
いじめ防止対策推進
基本方針



浜田山小学校では、すべての子どもたちが安心して楽しく学校生活を送れるよう、「いじめ防止対策推進基本方針」を定めています。
学校では、いじめを特別なものではなく、「どの学校でも、どの学級でも、どの子にも起こりうるもの」と考えています。そのため、小さなサインを見逃さず、早く気づき、学校全体で組織的に対応することを大切にしています。
いじめは、暴力や悪口だけではありません。相手が心や体に苦痛を感じる行為は、いじめとして受け止める必要があります。インターネットやタブレットを通じたやりとりも含まれます。



浜田山小学校では「いじめの原因はいじめられた側にあるのではなく、いじめる行為をした側にある」という考え方を大切にしています。その上で、いじめを受けた子どもの安全と安心を最優先にしながら、関わった子どもたち一人一人の思いや行動を丁寧に見つめ、よりよい成長につながるよう支援していきます。

いじめは、「謝って終わり」ではありません。行為がなくなった後も、相手が安心して学校生活を送れているかを継続して見守ることが大切です。学校では、本人の気持ちを確認しながら、丁寧に見守りを続けています。また、日頃の授業や道徳、特別活動、学校行事などを通して、相手を思いやる心や人権を尊重する態度を育てています。さらに、スクールカウンセラーへの相談、年3回のアンケート、学校いじめ対策委員会による情報共有などを行い、早期発見・早期対応に努めています。

記事参考元：杉並区立浜田山小学校「いじめ防止対策推進基本方針」

学校の外でも 浜小CSミッション 子どもたちを見守れるように

子どもたちの生活の場は学校だけではありません。登下校中や放課後、公園、地域行事、習い事、オンライン上など、さまざまな場所で生活しています。
浜小CS（学校運営協議会）は、学校・家庭・地域をつなぐ役割を担っています。学校の外での子どもたちの様子にも目を向け、気になることがあれば学校と地域が共有できる関係づくりを大切にしています。
地域で見かけた気になる様子や心配な出来事を、「学校のことではないから」と見過ごさず、学校へ伝えていただくことも、子どもたちを守る大切な支援の一つです。あいさつを交わすこと、登下校を見守ること、地域の中で子どもたちの変化に気づくこと。そうした日々の小さな関わりが、いじめの予防や早期発見につながります。
浜小CSは、これからも学校・家庭・地域が力を合わせ、子どもたちが安心して学び、成長できる環境づくりを支えていきます。